

第3回みえ県民意識調査

《集計結果 報告書》

平成 26 年 4 月

三重県戦略企画部

I 調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第3回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成26年1月～平成26年2月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部戦略企画総務課
- (8) 調査委託機関 株式会社スクエア三重事業所（調査対象者の抽出及び調査票等発送業務）
有限会社NEXT2000（調査票のデータ入力業務）
※集計作業は戦略企画総務課で実施しました。

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) 生活や仕事のこと
- (4) 地域や社会とのつながり
- (5) 家族や精神的なゆとり
- (6) 自由意見 (質問総数 53問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,467人 (回収率 54.7%)
- (3) 有効回答数 5,456人 (有効回答率 54.6%)
- (4) 無効回答数 11人

図表 1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第3回 (今回)	平成26年1月～2月	54.6%
第2回 (前回)	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,471	2,445	54.7	44.8
伊賀地域	名張市、伊賀市	961	536	55.8	9.8
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,704	1,516	56.1	27.8
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,424	738	51.8	13.5
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	440	221	50.2	4.1
合計		10,000	5,456	54.6	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数 (=有効回答数) を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数 (n) で割った比率となっており、比率の合計は通常 100% を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や第2回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数 (n) が 50 未満の属性項目、世帯類型の「その他」、世帯収入の「わからない」の属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢（10歳階級）、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。

(2) 世帯収入について、前回調査では本人収入を質問していることから、前回調査との比較はできません。

(3) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次の通りです。

- ・地域別では、「北勢」、「東紀州」の割合が前回調査より高く、「伊賀地域」と「中南勢」、「伊勢志摩地域」は低くなっています。

- ・性別では、「男性」の割合が前回調査より低い一方で「女性」が高くなっており、男女間の差が大きくなっています。

- ・年齢別では、「20歳代」と「40歳代」、「50歳代」の割合が前回調査より高く、「30歳代」、「60歳代」、「70歳以上」は低くなっています。

- ・主な職業別では、「企業、役所、団体などの正規職員」や「パート・アルバイト・派遣社員など」、「その他の職業」、「学生」、「専業主婦・主夫」の割合が前回調査より高く、「自営業、自由業」、「無職」が低くなっています。

- ・配偶関係別では、「不明」の割合が前回調査より低く、「未婚」、「有配偶」、「離別・死別」はいずれも高くなっています。

- ・世帯類型別では、「一世代世帯」、「二世代世帯」、「三世代世帯」の割合が前回調査より高く、「単独世帯」、「その他世帯」が低くなっています。

※前回調査の世帯類型は同居家族の回答の組み合わせにより判断しています。（詳細は97ページ）

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,445	44.8	44.1	(0.7)
	伊賀	536	9.8	10.3	(-0.5)
	中南勢	1,516	27.8	27.9	(-0.1)
	伊勢志摩	738	13.5	13.8	(-0.3)
	東紀州	221	4.1	3.9	(0.2)
性別	男性	2,346	43.0	44.9	(-1.9)
	女性	3,045	55.8	52.8	(3.0)
	不明	65	1.2	2.2	(-1.0)
年齢	20歳代	379	6.9	5.9	(1.0)
	30歳代	658	12.1	12.3	(-0.2)
	40歳代	946	17.3	15.9	(1.4)
	50歳代	994	18.2	17.2	(1.0)
	60歳代	1,239	22.7	23.8	(-1.1)
	70歳以上	1,157	21.2	23.1	(-1.9)
	不明	83	1.5	1.8	(-0.3)
	主な職業	農林水産業	174	3.2	3.2
自営業・自由業		507	9.3	9.6	(-0.3)
正規職員		1,374	25.2	25.0	(0.2)
パート・バイト・派遣		1,028	18.8	17.9	(0.9)
その他の職業		273	5.0	3.8	(1.2)
学生		75	1.4	1.3	(0.1)
専業主婦・主夫		792	14.5	13.7	(0.8)
無職		1,094	20.1	22.8	(-2.7)
不明		139	2.5	2.8	(-0.3)
配偶関係	未婚	707	13.0	11.7	(1.3)
	有配偶	3,959	72.6	72.4	(0.2)
	離別・死別	583	10.7	9.4	(1.3)
	不明	207	3.8	6.6	(-2.8)
世帯類型	単独世帯	394	7.2	7.6	(-0.4)
	一世代世帯	1,685	30.9	27.1	(3.8)
	二世代世帯	2,448	44.9	43.7	(1.2)
	三世代世帯	752	13.8	13.5	(0.3)
	その他世帯	83	1.5	5.6	(-4.1)
	不明	94	1.7	2.4	(-0.7)
世帯収入	～100万円未満	227	4.2	-	-
	～200万円未満	544	10.0	-	-
	～300万円未満	867	15.9	-	-
	～400万円未満	731	13.4	-	-
	～500万円未満	597	10.9	-	-
	～600万円未満	531	9.7	-	-
	～800万円未満	645	11.8	-	-
	～1,000万円未満	449	8.2	-	-
	1,000万円以上	410	7.5	-	-
	わからない	328	6.0	-	-
	不明	127	2.3	-	-
有効回答数		5,456	100.0	100.0	

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民力ビジョン」で政策分野ごとに設定した16の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

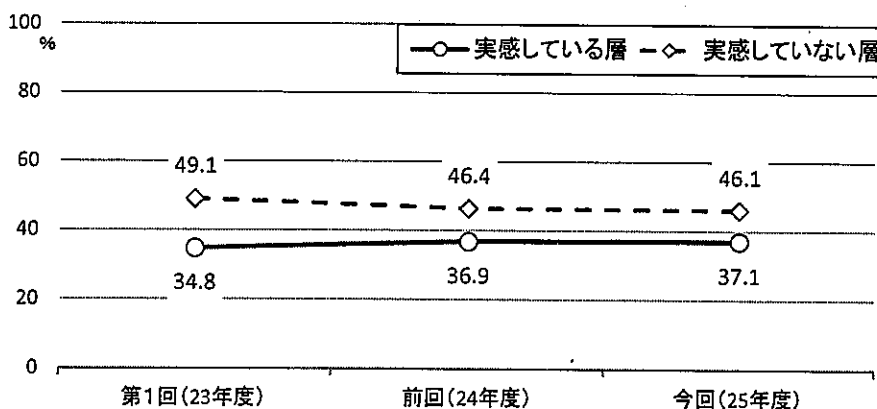
問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
(1)	災害等の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	危機管理
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らしていると感じる県民の割合	暮らしを守る
(4)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(5)	身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じる県民の割合	環境を守る持続可能な社会
(6)	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	教育の充実
(8)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	子どもの育ちと子育て
(9)	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域との連携
(11)	<u>文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じる県民の割合</u>	<u>文化と学び</u>
(12)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(13)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保
(15)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(16)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2- (11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じますか。

(関連の政策分野：文化と学び)

- 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が37.1%で、『実感していない層』の割合(46.1%)より9.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.2ポイント高く、『実感していない層』は0.3ポイント低くなっています。
- 第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.3ポイント高く、『実感していない層』は3.0ポイント低くなっています。
- 属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・20歳代の『実感していない層』は前回調査より5.0ポイント、第1回調査より3.1ポイントそれぞれ高い。
 - ・40歳代の『実感していない層』は全体より7.6ポイント高い。
 - ・70歳以上の『実感している層』は全体より5.9ポイント高い。
 - ・農林水産業の『実感している層』は前回調査より6.1ポイント、第1回調査より5.8ポイントそれぞれ低い。
 - ・正規職員の『実感していない層』は全体より7.2ポイント高い。
 - ・学生の『実感している層』は第1回調査より16.8ポイント高い。
 - ・無職の『実感していない層』は全体より7.5ポイント低い。

図表 2-2-22 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(第1回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 文化芸術や地域の歴史等について、学び親むことができる(属性別)

	感じる				実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	30.4	30.6	15.5	16.7	37.1	(0.2)	<2.3>	46.1	(-0.3)	<-3.0>
地域										
北勢	28.6	31.9	16.8	16.2	35.2	(1.2)	<2.8>	48.7	(-0.9)	<-3.3>
伊賀	33.0	29.3	14.9	16.2	39.5	(3.4)	<7.2>	44.2	(-3.9)	<-6.1>
中南勢	31.1	30.7	14.2	17.4	37.6	(-3.3)	<-1.7>	44.9	(1.1)	<0.0>
伊勢志摩	33.7	28.6	14.2	15.5	41.6	(1.5)	<4.7>	42.8	(2.3)	<-5.2>
東紀州	27.1	26.2	16.3	23.5	33.9	(1.6)	<4.0>	42.5	(-1.9)	<-7.5>
性別										
男性	29.0	33.5	16.3	13.3	36.8	(-2.3)	<1.4>	49.9	(1.7)	<-1.2>
女性	31.0	28.4	15.0	19.1	37.6	(2.7)	<3.1>	43.4	(-2.0)	<-4.2>
年齢										
20歳代	29.3	30.3	21.4	12.9	35.4	(-2.9)	<-1.2>	51.7	(5.0)	<3.1>
30歳代	31.0	28.3	19.3	14.2	38.1	(4.6)	<6.9>	47.6	(-4.0)	<-7.6>
40歳代	21.4	35.9	17.8	13.8	32.5	(-2.1)	<1.1>	53.7	(1.8)	<-1.5>
50歳代	28.7	32.9	17.7	16.4	33.0	(-0.2)	<1.4>	50.6	(-2.6)	<-4.8>
60歳代	33.0	30.8	14.9	15.6	38.8	(1.3)	<3.0>	45.7	(-1.3)	<-2.7>
70歳以上	32.8	26.2	8.6	22.2	43.0	(1.1)	<2.1>	34.8	(0.0)	<-2.8>
主な職業										
農林水産業	31.0	32.8	10.9	16.1	40.2	(-6.1)	<-5.8>	43.7	(0.8)	<3.8>
自営業・自由業	28.6	31.8	15.2	16.7	36.3	(-4.0)	<-3.5>	47.0	(1.0)	<0.3>
正規職員	30.1	34.3	19.0	11.2	35.5	(1.3)	<3.1>	53.3	(-0.6)	<-2.1>
パート・バイト・派遣	30.1	28.4	18.2	17.6	34.9	(0.7)	<2.9>	47.6	(-2.0)	<-5.5>
その他の職業	26.4	34.8	18.4	15.4	31.5	(-4.2)	<-2.7>	53.1	(10.2)	<3.8>
学生	36.0	21.3	16.0	13.3	49.3	(-0.7)	<16.8>	37.3	(-6.8)	<-17.3>
専業主婦・主夫	31.6	28.9	13.6	17.8	39.8	(0.6)	<6.4>	42.4	(-1.8)	<-6.8>
無職	33.3	27.4	11.2	20.4	41.0	(2.7)	<3.7>	38.6	(-0.8)	<-3.3>
配偶関係										
未婚	31.0	27.7	19.2	16.4	36.7	(1.0)	<-0.6>	46.9	(0.1)	<-1.5>
有配偶	31.1	32.0	15.4	14.7	37.9	(0.2)	<3.4>	47.4	(-0.3)	<-2.9>
離別・死別	29.0	28.3	13.9	22.1	35.7	(-1.6)	<-0.3>	42.2	(1.6)	<-1.8>
世帯類型										
単独世帯	28.4	28.9	12.2	23.9	35.0	(-0.5)	<-5.1>	41.1	(-2.2)	<-0.3>
一世代世帯	31.4	29.5	15.7	16.4	38.5	(1.0)	<4.0>	45.2	(1.0)	<-4.5>
二世帯世帯	30.5	31.9	16.8	14.5	36.8	(0.3)	<3.9>	48.7	(0.4)	<-3.1>
三世帯世帯	31.5	32.0	12.9	16.7	38.3	(-1.4)	<-2.3>	44.9	(-2.8)	<0.4>
世帯収入										
~100万円未満	29.1	21.6	15.0	27.8	35.7	(-)	<->	36.6	(-)	<->
~200万円未満	25.6	28.0	15.4	22.6	33.0	(-)	<->	44.4	(-)	<->
~300万円未満	32.1	32.4	13.1	16.0	38.4	(-)	<->	45.5	(-)	<->
~400万円未満	31.7	31.1	16.1	14.3	38.5	(-)	<->	47.2	(-)	<->
~500万円未満	33.3	32.2	15.2	12.6	40.0	(-)	<->	47.4	(-)	<->
~600万円未満	34.5	31.9	14.3	13.4	40.5	(-)	<->	46.1	(-)	<->
~800万円未満	28.4	33.0	18.6	13.8	34.6	(-)	<->	51.6	(-)	<->
~1,000万円未満	28.3	35.6	16.7	13.2	34.5	(-)	<->	52.3	(-)	<->
1,000万円以上	32.1	33.4	17.8	11.0	37.8	(-)	<->	51.2	(-)	<->

※世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。